



NETWORKING NEWS LETTER



CONTENTS

ポラン広場東京30周年メッセージ
30年のこれまでと、これから

王隠堂農園・王隠堂誠海さん
やさか共同農場・佐藤隆さん
HERBSMAN'S・福山久之さん
げんきタウン・森秀介さん

「ポラン」のネットワーキング
2014NEW ポラーノミルクチョコレート

地球と一緒に...つくる人TALK[その11]

江戸前でい!!
遠忠食品 宮島一晃さん

[トピック&ニュース]
10.4同時多発くにたちたまデモ
今こそ歩きましょう!

オーガニックショーポラン広場東京2015
開催日程について

[INFORMATION]
事務局からのお知らせ
●11月の活動予定
●活動短報

NEW
STAGE
2014 **11** 月号



< art-The Polan 2014 > - Mihoko Inazawa

祝・30周年!

30'th Anniversary

今、そしてこれからのオーガニックを共に!

今年はポラン広場東京発足30周年!そして11月3日は、POD(ポラン オーガニックフーズ デリバリー)創業34周年の誕生日です。この記念すべき今、ポランのミルクチョコレートが、「ポラーノ ミルクチョコレート」としてリニューアル。ポランの「新しいデザイン」の第1号としてお披露目です!

「ポラン」のネットワーキング

人と人にと留まらず
多様な生物の歴史と人間の営みを繋ぎ
進化するものがネットワーク
それは多様な複雑なネットワークと私たちは考えます

すべてのものが重なりあい、
色彩を変化させながら 息づく地球

命・自然・地球・宇宙・時間
そのネットワークに真摯に向き合った
作り手とあなたをつなぐ
ネットワーキングでありたいと
思っています

ポランの商品づくりはオーガニックが基本。「作り手とあなたをつなぐネットワーキング」を大切に、これからのオーガニックを共に作りたい。商品にはそんな思いが託されています



2014 re**NEW**al
ポラーノ ミルクチョコレート

30年のこれまでと、これから！

この度はポラン広場設立30周年誠にありがとうございます。有機野菜、有機加工品の販売者のパイオニアとして、30年もの間消費者の皆様には生産のこだわりや商品価値を伝え広めていただいたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます

私たち王隠堂農園は紀伊半島(吉野・熊野地方)を中心に人に地球にやさしく持続的発展が出来る農業生産を行ってまいりました。温暖な気象条件に恵まれ、農産物を栽培するには大変優れた環境にあり、梅・柿などの果樹だけでなく、あらゆる種類の野菜も年間を通して生産いたしております

これらの農産物を原料とした農産加工品も作っています。加工品については着色料や添加物を使わない一貫したこだわりを持ち、安心安全なもののづくりに日々励んでおります

近年のグローバル社会の中で国内生産者の立場は、今以上に厳しくなります。これからも1人でも多くの消費者に伝えご利用していただけることが、地域農業の継続に繋がります

今後も有機農業の発展の為に活動宜しくお願い致します

王隠堂誠海 さん
王隠堂農園
(奈良県五條市:農産/農産加工)



東日本大震災や原発事故、そして経済不況に立ち向かうみなさまのご尽力により、ポラン広場が設立30周年を迎えられたことに、心からお祝いを申し上げます。私達が農村に入り、地域の農家と協働して有機農業や農産加工に取り組み始めた時、ポラン広場は関東を中心に、町の時計台とも言われる有機農産物を中心

佐藤 隆 さん
やさか共同農場
(島根県浜田市:農産/農産加工)



にした引き売りや店舗展開を始められました。その成果から、ポラン広場の宅配へと前進され、私達生産、製造者が有機農業の畑を広げ、農村が共同社会として自立していく取組を都会から支えてくれる大きな存在になっています

今年の生産者米価が大きく下落したことで、私達の有機農業は都市生活者としてしっかり繋がり、お互いが責任を背負って支え合っていく大切さと実行性がさらに明確に見えてきました。具体的な活動として、生産、流通現場に共通する次世代の人材育成が急務と思います。そのためには、都市生活者が農村に定住し、また新規就農者になるだけでなく、次世代の農村生活者が、流通現場の体験や研修に積極的に参画する試みが重要ではないでしょうか。ポラン広場の活動として、ぜひ取り組んでいただきたいと思っています

ポラン広場30周年おめでとうございます！思い起こせば20数年前、ポラン広場の門を叩き、有機八百屋に配属され、リヤカーやトラックで野菜の引き売り、チラシやカンパンやら広報誌づくり…愉快的仲間たちと無我夢中でオーガニックの海を泳いでいる日々でした

そんな中で出会う生産、製造者のまたなんと魅力的だったこと！その手から作り出される食べ物のなんと美味しかったこと！あ〜いつかきっとそんな作り手に、自分もなりたいと夢見たものでした

今はその夢がかないハーブ屋の道を選んで20年がたちます。有機農業はそこにあるものの存在を認め、その働きを生かし、一緒に暮らしていく生き方だと思っています。自然の中にはとても素敵な虫や動物たちがいます。沢山の生きものとのつながりがふえればふえるほど、その環境はしなやかな強さを増し、健康で美味しい野菜や香り高いハーブができます。そんな中に僕らもいるはずなのに、人間は



福山久之 さん
HERBSMAN's
(茨城県行方市:農産/農産加工)

それをずいぶん壊し、結局自分たちに刃を向けることになりました

ポラン広場はつながりをとて大切にしているグループです。虫も動物も植物も、作り手も、手渡す人も、食べてくれる人たちも。つながりが増えれば増えるほどきっと素敵な未来が待っている。これからもワクワクの扉がどんどん開くことを楽しみにしています



森 秀介 さん
げんきタウン
(大阪府豊中市:農産加工)

ポラン広場設立30周年おめでとうございます。30年前と比べ、有機のもつ意義や、信頼性は飛躍的に拡大しました。ポラン広場をはじめ関係する皆様の弛まぬ努力の賜物と思います。私どもも間もなく30年を迎えます。まさに、有機と出会い、知識を得、産地を巡り、有機加工品製造の実践の中で試行錯誤の連続でした

私の有機への傾斜は28年前、有機栽培のトマトとの出会いです。市販のトマトと比べその力強い風味に感動し有機農産物を使った加工品をと考えました

私の座右の銘に「理解・納得・共鳴・感動」という言葉があります……

- 情報に接し、有機の良さを受動的に**理解**する
- 実際食べ味に**納得**し、現場を見て環境への配慮に**納得**する
- 考え方に**共鳴**し、積極的に関わろうと行動を始める
- そして、この**感動**を他へも広めようと能動的に活動する

農産物や加工品の単なる媒介でなく、有機的なネットワークの中心として、生産・製造者のこだわりを、流通の思いを、消費者の喜びを、感動の伝達者としての役割を今後も続けていきたいと思っています



地球と一緒に！…つくる人TALK [その11]

江戸前でい！

…遠忠食品 宮島一晃さん（東京都中央区）

伝統調味料だけ仕上げるシンプルな味付けの佃煮、煮豆、お惣菜でおなじみの遠忠（えんちゅう）食品。大正2年創業の、今年で101年を迎えた老舗の佃煮屋さんです。現社長・宮島一晃さんのおじいさんにあたる、創業者の宮島忠吉さんが遠州（静岡県）ご出身ということから、遠忠商店と名づけられました



■生まれも育ちも日本橋

遠忠食品の本社は東京、日本橋蛸殻町にあります。工場が埼玉県越谷市に移転するまでは、煮炊きもすべて日本橋の本社工場です。その2階がお住まいで、宮島さんは小さなころから佃煮を作るのを見て育ったそうです

栄養豊富な川が何本も流れこむ東京湾は、古くから海産物の宝庫。江戸の前浜で水揚げされるから江戸前。この前浜の魚介や海藻をメインに炊き上げた佃煮が、佃煮屋遠忠、創業の原点です。ところが、宮島さんが家業に入ったころには、江戸前のネタを原料に仕入れるところはなくなっていました。そんななかで、余計なものをいっさい入れず、東京湾産の原材料を厳選して開発されたのが「江戸前でい！」シリーズです

「生まれも育ちも日本橋。目の前に東京湾があるのに、当時は有名な佃島にいったって原料で東京湾産なんてなかったんですよ。もともと海苔の佃煮がメイン商品だったこともあって、東京湾で採れた海苔をなんとか佃煮にできないかという発想だったんです。何かできないかと…」

宮島さんは、まずはメイン商品「海苔の佃煮」からと、東京湾の海苔の仕入れからアプローチを開始。漁協ではなく東京湾の漁師さんに通って原藻を直接買い付け

ました。佃煮用の原料海苔といったら、ふつうはバラ干しの乾物を仕入れます。それをせず、船から揚がった採れたての生海苔を、宮島さん自ら、車を走らせて買い付けに行く。そんな生活を6、7年も続けたそうです

■江戸前のアサクサノリが復活！

漁師さんとのお付き合いは、その後少しずつ広がっていきます。里海の会という漁師のグループがアサクサノリを復活するという。国産の海苔は「スサビノリ」という品種がほとんどですが、アサクサノリは味、香りともにすばらしいのに、病気に弱いなどで栽培が難しく、とても希少な海苔。東京湾でアサクサノリをつくる人はいなかったのです

彼らが6年もの試行錯誤のすえ栽培に成功したとき、海苔の加工工場から品種が違うことを理由に受け入れを拒否されてしまったそうです。宮島さんはこれを全量引き受け、以来グループとの信頼関係もより確固なものとなりました

このほか、横須賀の昆布やワカメ、行徳のホンピノスガイ、船橋のアサリなどなど、東京湾の漁師さんとのおつきあいはどんどん広がって、今では11品目。人気の「江戸前でい！」シリーズが誕生しました

■直営店「遠忠商店」が広げる思い

「最近の子どもたち、佃煮を知らないんです」と語る宮島さん。ファストフードやコンビニが提供する均質な味が定着し、昔ながらの食材や料理が食卓から消えています。そんな変化の中で失われていく子どもたちの味覚をなんとかしたい。宮島さんは2010年、本社の1階に、直営店第1号「遠忠商店」をオープンしました

遠忠自慢の佃煮コーナーは「江戸前でい！」を筆頭に、国産素材・伝統製法・伝統調味料の品々がフルラインナップ。有機野菜や安全・安心の食材もずらりと並んで、イメージは佃煮屋というより品揃え充実、おしゃれな自然食品店です。「軒先マルシェ」も開かれ、ご近所や遠方のお客様でいつもにぎやか。お仲間の生産者やメーカーもときどき店頭に立つそうです。宮島さんの思いが詰まったわきあいあいのお店。ぜひお訪ねください！



「浅草のり佃煮」。希少なアサクサノリの持つ素材の甘さを、伝統調味料で味付け、直火釜で浅く炊きあげた遠忠自慢の一品！



日本橋蛸殻町の本社にオープンした直営店「遠忠商店」。メインの佃煮のほか、有機野菜をはじめ安全・安心の食材をしっかりと品揃え。ここに行けば楽しいことがある???



あきらめない! 平和・脱原発・民主主義 10.4同時多発デモ くにたち たまデモ



10月4日午後、東京国立の一橋大学南門前に、さよなら原発エネシフトウォーキング(青梅)、原発さよならゆっくりウォーク(小平)、未来をつくるたまデモ(国分寺)などの市民ウォーキング(デモ)が、大集合しました。名づけて「未来をつくる たまデモ」どこからでも～あきらめない! 平和・脱原発・民主主義～」およそ100名の有志が集まり、「街に出よう、声を出そう」「未来をつくろう、脱原発をあきらめないぞ」「民主主義をあきらめないぞ、平和憲法あきらめないぞ」と、元気なかけ声を響かせました。

地球上で最悪の原発事故が起こってしまったのに、原発ゼロの1年を実現できたのに、いまだに原発依存を脱しようとしていない日本の未来を何とかしたい。そんな思いを抱く、デモなどとは無関係だった一般人のたち。今ではこの原発の根の深い問題を、平和や民主主義の問題と結びつけて考え、行動するようになりました。ウォーキングは約2時間、道行く人から応援のエールをいただきながら、大通、商店街、そして駅前を通過して住宅街まで歩き、無事終了しました。

今こそ、歩きましょう

10.4さよなら原発
エネルギーシフト
ウォーキング(19)

10月04日(土)10:00～11:00 JR 小作駅東口「けやき児童公園」から河辺駅北口「株樹公園」まで歩きました。昨年9月15日に福井県の関西電力大飯原発4号機が定期検査入りし、国内の全48基が停止してから1年以上がたちました。国内で最初の原発が営業運転を始めた1966年以降、初めて稼働原発ゼロで夏の電力需要のピークを越えました。日本が原発ゼロでの電力供給が年間を通して可能であることが証明されたのです。川内原発の再稼働は、鹿児島・九州だけの話ではありません。九州で過酷な原発事故が起これば、列島は放射能に覆われます。声をあげましょう、今こそ 歩きましょう、未来のために。次回は11月8日河辺～東青梅の予定です。



事務局からのお知らせ

引き続き、賛助会員の拡大にご協力をお願いします!

●ポラン広場東京は、2011年施行の「新寄付税制」と2012年4月施行の「改正NPO法」に基づき、「認定NPO法人」の取得を目指しています。●認定NPO法人への寄付には、寄付者への所得税・住民税控除、会社等法人への損金算入枠拡大などの税制優遇措置が設けられました。この「新寄付税制」を活用し、補助金助成金と自主事業収入中心の不安定な資金調達から、会費・寄付金収入を主な資金とする法人運営へと発展させる事がねらいです。●認定取得の主な要件は「年平均100名以上の寄付者がいること」です。賛助会員の年会費(5千円)は寄付金とみなされるので、賛助会員100名以上で要件を満たします。●会の運営の健全化、安定化を万全のものとするため、**賛助会員の募集は今後も進めてまいります。**引き続きご家族、お友達などにお声がけいただき、賛助会員の入会拡大にご協力いただきますよう、お願いします!

●認定取得の主な要件は「年平均100名以上の寄付者がいること」です。賛助会員の年会費(5千円)は寄付金とみなされるので、賛助会員100名以上で要件を満たします。●会の運営の健全化、安定化を万全のものとするため、**賛助会員の募集は今後も進めてまいります。**引き続きご家族、お友達などにお声がけいただき、賛助会員の入会拡大にご協力いただきますよう、お願いします!

活動予定

- 11月8日(土) 13時～14時
さよなら原発 エネルギーシフト」ウォーキング 20
青梅市河辺～東青梅

活動短報

- 10月 4 「さよなら原発 エネルギーシフト」ウォーキング 19
10 福島二本松 青空市場に義援物品お届け
20 福島二本松 青空市場に義援物品お届け

「オーガニックショールーム」 ポラン広場東京 2015」 開催日程について



これまでの春(2月～3月)開催から、秋(9月～10月)開催への変更を検討しています。今秋からスタートした「ポラン」のネットワーキングを具体化する「ポラン ブランディング」を強力に推し進め、その集大成として「オーガニックショールームポラン広場東京 2015」を準備・開催するという意図によるものです。趣旨および開催月等について、会員の方々のご意見をお待ちしています。

成として「オーガニックショールームポラン広場東京 2015」を準備・開催するという意図によるものです。趣旨および開催月等について、会員の方々のご意見をお待ちしています。



じむきよく NOTE



最近、近所の山を歩いています。田畑と山が交差する里山には、古い民家がたずみ、あぜ道には収穫を終えたお米が秋の日差しにキラキラ輝きます。どんぐり、柿、栗、柚子、畑の脇や民家の生け垣にはお茶が植えられていたりします。今の季節、お茶はほんぼりのような花が盛り。かまぼこ型の畑のお茶は花芽を刈るので、花はほとんど

つけませんが、野道のお茶は伸び放題。花も実もあるわが世の春を咲きまくるんですね。それは見事で、ほれほれします。…関東近辺でも、昔は各家庭に製茶の道具があり、お茶だって自家用につくっていたそうです。お茶も自給できる! 里山の豊かさにあこがれを感じてしまいます(竹内)

NPO法人ポラン広場東京 ネットワーキングニュースレター

11月号
2014年 11月 1日発行
(毎月1日発行)

特定非営利活動法人 ポラン広場東京
〒198-0052東京都青梅市長淵4-393-11
TEL: 0428-22-6821 FAX: 0428-25-1880
E-mail: office@polano.org